

インターネットのCOOL&FOOLが大集合!



# We Love Internet People

このコーナーは、  
インターネットピープルの皆さんと編集部を結ぶページです。  
皆さんの楽しいメールがこのコーナーを作ります。

Let's Access!



## Voices From Readers

読者の声

**は**じめまして。今年の2月末に、6年ぶりのパソコン買い替えをしたものです。ウィンドウズもインターネットもパソコン通信も初めてのことはかりです。しかも、テレビの真横で使っていたら、液晶をやられてしまいました。2週間も使えずに、経験値がなかなか上がりません。インターネットマガジンとはオフラインの雑誌なのでしょうか そんなことも知らない。(さーがさん)  
お、オフラインの雑誌とは、いったい.....?(編)

**毎**月、CD-ROMを付けてくださるのはたいへん結構なのですが、いらなくなったCD-ROMの処分をどうすべきか考えてしまいます。一応、燃えないゴミとしてゴミの回収に出しています。燃えないゴミは、処分場で埋め立てられます。処分場は、どこでもバンク寸前だと聞いています。このまま燃えないゴミ扱

いでいいのでしょうか。資源リサイクルの点で考えると、たいへん無駄なように思います。インプレス社のほうで回収していただければ、画期的だと思うのですが。郵送料ぐらいはこちらで持ちますから。無理かな( ^\_^ )。(黒田 亮さん)

以前CD-ROMでノレンを作っている人を見たことがありますが、そういった工作に使う手はありますね。または場所を取るものではないので、リサイクル方法が發明されるまで保管しておくか? 編集部に来てもそこで溜まっていくだけですね.....(編)

**5**月号のプロバイダー特集が良かったので、  
毎月これと同じ特集をやってほしい。  
(匿名希望)

実は本誌には毎月プロバイダー特集(?)があるんですよ。P390~を見てくださいね。(編)

**4**月11日の統一地方選(前半戦)は、都知事の話者性から、なかなか盛況だったようです。ところが、関係ない(?)地方の人間まで迷惑がかかったようです。当日18時ごろから23時ごろまで、非常に回線が混雑したようです。

以下は私の場合(APはいずれも札幌)

ASAHIネット.....まったく接続できない。APIにすら接続できない。

SANNET.....接続はできた。しかしその後はどこへも接続できない。データが送られてこない。ずっとウェブを探し続けてタイムアウト。メールサーバーもだめ。

DTI.....さすがに大々的な広告を打って「NO BUSY」と言っているだけはあった。なんの問題もなくネットサーフィン。メールも大丈夫。他のメールサーバーも行けた。

いずれも23時ごろまで何度も(10回以上)試してみた。

選挙の連絡やデータ送信に、各報道機関がインターネットを使っていることが証明されたかな(?)。他のプロバイダーはどうだったんだろう。気になります。(佐藤孝一さん)

編集部ではどうだったかな? と考えたのですが、すでに思い出せません....(編)

**今**のトレンドの紹介。映画、ビデオ、ドライブ情報など、ジャンルごとに毎週関連ホームページを紹介してほしい。URLだけではちょっと寂しいです。紹介記事に写真やイラストもいれて雰囲気を出してほしい。

(HKさん)

インターネットトレンドじゃ、だめ?(編)



## 新ソフトウインドウズのみ 切なさよ

雑誌を読んでいて、「新しいチャットソフトやキャラクターフトが出た！」と願ってよく見る。ほとんどがウインドウズ版。以前はそのソフトも出てきたものも出ていたんです。最近ではもう期待もなくなっています。

(たのきん)

## リコメンドメールで来るよ コワイ買

某オンライン書店に何度かオーダーしたら、向「おから」こんなのあるよ」といふオスメのメールがやって来て、おまじりになりました。それがまたツボをついたものばかりで、気がついたらまた買ってしまうなんて。う。

(たのきん)

## ダンナサマブックマークに エロサイト

何気なく夫のパソコンを使っていて、ブックマークをふと見ると、そこにはアダルト系サイトが満載でした。その時の妻のショックな気持ち、わかっていただけのじよつか...

(特に名を秘すじよ)

あなたの自慢のホームページを紹介します。どれも作者の自信作です。とくとご覧あれ

HOMEPAGE

# 見よ!

読者の自薦  
ホームページ



### 「Fishing Dictionary」

URL <http://www.os.xaxon.ne.jp/~raichi/Bass/BassF00.htm>

私達夫婦のバスフィッシング日記です。雨の日も雪の日も風の日も釣り釣りの釣り三昧。でもなかなか釣れません。そんななかで出会ったブラックバス達とは必ず記念撮影をしています。みんな「かわいい」バス達ですが、私達夫婦にとっては結構「大物」なんですかねえ。(らいちのババさん)

### 「Flying Babies」

URL <http://www.nttl-net.ne.jp/sarah/>

「Flying Babies」は赤ちゃん&子供連れ旅行のガイドです。旅行の準備から旅先での注意などの情報を掲載しています。旅行関連リンク集はウェブ上で利用しやすいようにコメントに配慮しました。ホームページのデザインにはちょびっと自信有り?かも...

(あやどんさん)

### 「幕末研究会」

URL <http://www2u.biglobe.ne.jp/~matsuba/>

去年の大河ドラマで人気沸騰中の江戸幕末についてのページ。その名もなんと「幕末研究会」。毎週特集を組んで掲載しております。サイト内のデータを一括ダウンロードも可能です。ページを作っているのは中学生で、トップページのデザインなどは大人顔負け、ここまで言われては行ってみるしかない!! (Ryoさん)

### 「Tokyo Club Guide」

URL <http://www2e.biglobe.ne.jp/~cool-k/clubguide.htm/>

「ダンス好きな大人達」のためのクラブガイドです。東京のクラブをミッシュラン形式で紹介しています。ご覧になってみてください。

(COOL-Kさん)

### 「ケントハウスインターネット」

URL <http://www.kenthouse.co.jp/>

1995年開設以来、インターネット一筋でがんばってきました。おかげさまで、今ではこなせないほどの受注を抱えています。リフォーム

業界広しと云えど、インターネット専門店はまだ社1社だと思います。(上林謙一さん)

### 「阿蘭陀帆船バタヴィア号のホームページ」

URL <http://www.parm3.co.jp/~dream/>

オランダ船復元計画というのをご存じでしょうか? 長崎の市民グループが15年間をかけて実現させようとしている壮大な計画です。現在インドネシアのスラウェシ島で建造中で、完成すれば世界最大級の木造オランダ船になります。このホームページはこの計画の応援の目的で作成しました。

オランダ船は本年11月にインドネシアから長崎まで曳航予定です。現実の世界では船に乗れる人数には制限がありますし、危険な航海にも同乗できません。でもインターネットを使えば、定員は無量大。実際の船にノートパソコンをつんで衛星電話とウェブカメラを使い船上からリアルタイムの中継を行います。世界中の子供たちを乗せて「インターネットで400年前のオランダ帆船に乗って夢と冒険の旅によう!!」(本田孝也さん)





# What a Wonderful World!



いでのぶこ  
1969年大阪生まれの東京育ち。6年間プログラマーとして働いた後、世界一周を計画。99年2月に日本を出発し、シンガポール、マレーシア、タイ、ミャンマーなどを経て現在ラオスに滞在中。アジアで一番交通の便が悪い国と聞いていたのに意外にいりやすが走り、道の状態もよくて楽勝だったのでちょっと喜んでいる。

## 誰でも札束を持っている国

ラオスはいま猛烈なインフレ中。USドルで50ドルをラオスの通貨「キップ」に両替したら、2000キップ札175枚、厚さ7センチの札束に化けました。昨年の情報で3500キップだったホテル代も今年はゼロが1個増えてます。だから庶民でもポケットにはお札がぎっしり。誰がお金持ちで誰が貧乏なんだかさっぱり。おかげで旅行者もお札を出すときコンコンする必要がありません。

建国してわずか20年ちよいのラオスは観光資源に乏しい国です。首都ビエンチャンですら、隣国タイの田舎町に見劣りするくらいのお小さな街。端から端まで歩いても2時間とはかかりません。

ビエンチャンの見所はかるうじて、金ピカの仏塔と凱旋門ふうの建物がある程度。でも仏塔の金ピカはただのペンキみただし、凱旋門に至っては、いかにも途中で予算が尽きたような外側むき出しのコンクリート。凱旋門は内部に入れますが、中途半端な装飾を見ながら



バラモン僧ルアンブーによって作られたブッダパークのオブジェ。前衛的でちょっとブキミなモチーフが印象的。

暗い階段を上ると、3層くらいの展望台に出ます。展望台の内側は落書きだらけ。市内が一望できるたって街自体が狭いので、遠くは延々椰子の木が見えるばかりで拍子抜け。落書きしたくなるキモチもわからなくても、でも一応文化財だと思うのでよしませうね。ちなみに仏塔も凱旋門も入場料は約10円。まあ妥当といったところです。

そんなラオスも今年は一応観光年。地方の反政府ゲリラもほぼ一掃され、幹線道路も整備され、長距離の移動もいって快適。韓国製の中古バスで緑深い山々をぶっとばせば、村の小さい子たちがごぞって手を振って迎えてくれます。それはもう、バスが来たくらいでどうしてって思うくらい嬉しそうに、服をひっぱりあって我先にと前に出て、サンダルを手にぶんぶん振り回しながら歓迎してくれるんですから並じゃありません。

ラオスでのおすすめは「メコン川下り」。歴史の浅いラオスではこうした自然こそが観光客を呼ぶ目玉になってるんですね。タイ国境の町フエサイから、世界遺産の町ルアンパビンまでは8人乗りのスピードボートで約6時間。兩岸はごつごつの岩肌。かなり見応えありそうな風景です。ところが出発前にライフジャケットを着せられて、ひとによってはこの暑いのにフルフェイスのヘルメット。それって岩に激突して転覆したりするかもしれないってこと!? そんなことになったらパソコンが壊れてしまう! と考えてから自分のアホさに気づきました。パソコンよりもまず命の心配せねば。途中は結構難所も多く、ボートはしばしばたきつけるように揺れました。タオルと服で何重にも巻いている



トゥクトゥクと呼ばれる三輪タクシー。うまく交渉すれば1km10円くらいで乗ることができる。

とはいえやっぱりパソコンに悪そう。精密機械と旅行するのはほんとに気が気じゃないのです。

間もなく目的地に着くという頃、止まっているボートを見つけてこちらもスピードを落としました。故障した舟を救助するの? と思ったら、その舟、1日の仕事を終えた船頭さんたちが宴会をはじめたところ。プラスチックボトルを切り取っただけの急ごしらえの杯で、ラオス焼酎ラオオオがふるまわれます。向こうのボートのお兄ちゃんに「お嬢さん、こっちに来て一緒に飲みませんか」と誘われて、つい行きそうになってしまいました。メコンに浮かぶ舟で宴会なんてオツなもんじゃありませんか。お日さまも酔っぱらって空が赤くなりはじめました。ラオスってなんかおおらかで好き。いえラオオオの酔いのせいだけじゃなく。

さて、お次はちょっと東に戻って、台湾からお送りします。それでは来月、またお会いしましょう!

いでのぶこの旅の速報はホームページで!

「のぶこのドキドキ世界一周」

URL <http://www4.justnet.ne.jp/~nosan/>

# まぐまぐ 社内MIL 超編集

We Love  
Internet  
People

イラスト：松原弘実  
URL <http://www.netaid.or.jp/bezel/>

## 第7回 「会社っぽくなりたい...」

まぐまぐスタッフ一覧

大：大川弘一（代表取締役、愛称だいちゃん）  
深：深水英一郎（ウェブマスター、愛称フッキー）  
る：加藤るみ（ユーザー対応、愛称るっちゃん）  
紀：平塚紀子（ネットワーク管理、学生、愛称のりびー）

大：はー。もう夏近いねえ。センチメンタルだ。

深：なんでや？ 秋やる普通。

富：それはそうと、今回も新しいメンバーがそろそろ来る頃なんだけどな。

る：そうだったわ！ 新プログラマーの敬ちゃんね！ どんエレガントなコードを書くのかしら。いまからワクワクね！

山：フランスの数学者がいな。

敬：こーんにちわー。

大：おーはやかだったね。これからよろしく。とりあえず山下が留年しちゃって実家に怒られたから、敬ちゃんの席は山下が学業に専念している間はあそこね。

山：理由はいちいち言わなくてもいいです。

る：でも、なんだかんだ言って山下くんネタは期待されているみたいよ。ほら。

ウィークリーまぐまぐ、毎回楽しみにしています。ゲーマー山下さんの動向が気になって、届くたびチェック入れてしまいます。これからもがんばってくださいね

全：おー。女性読者だ。

山：来ましたね。やっと。ワタシにも。春が。

る：うん。でもね、こういうのも来ているの。ゲーマーとはゲーバーのママと言う意味ではないということに、最近やっと気がつきました。チーマーと同じ様な言葉だと思っていました。

山：山下和佳（解除大臣、学生、ゲーマー、愛称やまさん）  
ミ：松原啓明（プログラム開発、学生、愛称ミシク）  
ゴ：小泉柳士（広告媒体管理、愛称ゴーン）  
富：吉富一郎（広告媒体管理、愛称オトミ）  
敬：松原敬二（ハイブリッドプログラマー、愛称けいちゃん）

大：あちゃー。

山：やっぱりね。あれですよ。これからなんです。

ね。僕らゲーマーの地位が向上していくのは、

深：ロビタがいな。

る：まあまあ。フッキーのわかりにくいツッコミはほっといて、みんなでお掃除でもしましょ。ワッフルの食べかけが応接セットに転がっている会社なんて、ワタシの国では聞いたことないわ。

敬：そうそう。キタナイですよこの会社

紀：来たばかりなのにキビシイお言葉。

ゴ：でも、そろそろうちも会社っぽい感じにこう、ピシッとしていかなきゃですよ。

大：会社っぽい感じってどういうの？

ゴ：ほら、あの、給湯室があって、愚痴を言っているOLがいて、OLがマツシマナナコに似て、食事に誘うとテイヨク断ってくれるような。

山：偏りがありますね。痛いほど。なんかあったんすか？

ゴ：そうかなあ。でも僕、美人が好きだから。

富：俺も俺も。

深：話題変わるとるやんけ。

大：うーん。やっぱり会社っぽくていうとみんなスーツか？

る：きゃー！ かっこいいー！ どんなスーツかしら！ レザボアドッグスみたいなの？ それともブルースブラザーズ？

ミ：ツウゴノミデスネ。



大：びびゃああ！ びっくりしたあ！ いつからあったん？

ミ：キニシナイキニシナイ。キニシナイヨナ。

山：キャラ変えてくるなあ。

深：よしっ。それじゃ来週からフォーマルデイを作ろう！ んで、名前を呼ぶ時も、今までみたいにあだ名じゃなく、コードネームで呼び合うのだ！

紀：あたしのコードネームはなに？

深：うーん。そーだね。「叫び虫」なんてどうだ？

紀：<B>イヤ</B>

深：そんなあ。タグつけてまでいやがなくても。まあいいや、それじゃ俺だけでもちゃんとスーツ着てくるし。みんなはちゃんとコードネームで呼んでくれよな。

大：コードネームはなにがいの？

深：「カリブの赤い星」

る：へえ...そういうのがいいんだ...。

ミ：ケツキョク会社ツボクナイデスネ。

深：うっさい！

## まぐまぐ 新作メールマガジン ダイジェスト

まぐまぐスタッフのるっちゃんがタイトルを見て気になったメールマガジンをご紹介します。あえて内容は見ずに、タイトルのインパクトだけで選ぶ、という試みです。

(selected by るっちゃん)

タイトル下の数字は、まぐまぐメールマガジンIDです。登録はまぐまぐホームページ (<http://www.mag2.com/>) で！

### 悪魔養成学園

0000012646  
恐ろしいタイトルですが、内容は普通の小説です。

### 白

0000012644  
本文に余白がたっぷり。まさに白いメールマガジン。

### 断片屋

0000012739

未完成の情報も、部分を組み合わせることでおもしろくなるという一例です。

### メールで三馬鹿大将

(Three Stooges on Mail)

0000012690

三馬鹿大将という言葉に勢いとロマンを感じます。

### 学校英語にFUCK OFF!

これが、ほんまの英語やねん!

0000012782

英語系メールマガジンに、体育会ノリのタイトルがミスマッチでステキ。

### 大分だよ・全員大集合～

0000012804

「ダイブ」と読んでしまって、ちょっと空白の瞬間(とき)がありました。

### ああ、漢字が思い出せない!

0000012962

気持ち痛いほど伝わってきたので選びました。パスルのメールマガジンです。

### 句路巢環奴クイズ

0000013024

クロスワードです。暴走族の名前ではありません。

### おとなだってバレエ

0000013012

おとなだって、バレエがしたい時はありますよね。私はあります。

### 銅相場情報

0000013114

銅ってどこで買うんでしょうか。コンビニにはありませんでした。

### ぶりぶり大魔王

0000013076

ぶりぶりした時に現れてくれそうです。もう一度ぶりぶりするとっぴこみそうです



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)